

知的障がい児の発達段階を どのようにとらえるか

【日時】：2017年5月29日（15：00～）

【場所】：郡上特別支援学校 大和校舎



講師：別府 哲 先生
岐阜大学教育学部
副学部長・教授

著者に「障害児の内面世界をさぐる」「自閉症児者の発達と生活 共感的自己肯定感を育むために」ほか多数。

自閉症児・者の発達や指導をライフサイクルを通して研究。相談活動も熱心にされています。

【研修内容】

岐阜大学教育学部副学部長・教授の別府哲先生をお招きし、「知的障がい児の発達段階をどのようにとらえるか」というテーマでお話していただきました。先生には、研修会の前に、小学部の生活単元学習の授業を参観していただき、今年度、当校の研究の柱となっている「単元づくり」の視点からのご指導や、今回の授業において児童の発達段階の捉えと支援内容は適切であったかについてご助言いただきました。

「学年をまたいで行われる授業では、発達に違いがある。架空の世界と分かっている楽しめる子や、その世界に入り込んで本気で怖がったり喜んだりする子などさまざまであるが、前者の子がムードメーカーとなることで、後者の子を巻き込み、活動が盛り上がっていく。人との関わりはポジティブなことばかりでなく、断られたり争ったりするネガティブなことも経験として必要である。」ということをお話していただきました。今後の生活単元学習の授業づくりや、児童生徒の支援に生かしていきたいと思いません。



